

学校教育目標：豊かな心を持ちたくましく生きる

楡北小だより



令和3年8月、9月 文責：佐野紳二（校長）

2学期が始まりました 感染症対策を徹底し、教育活動を進めていきます

8月27日（金）、37日間の夏休みが終わり、楡形北小学校の2学期がスタートしました。

オリンピックでの日本人選手の活躍と金メダルラッシュに日本中が沸いた夏休み前半でしたが、その後は新型コロナウイルス感染症の変異株による感染拡大が山梨県にも及び、20日からは南アルプス市も「まん延防止等重点措置」の対象地域となる中での2学期開始となりました。

学校では、今まで以上に子どもたちへの感染防止を第一に考えながら、教育活動を進めていきたいと考えております。運動会やドレミファ発表会など、さまざまな行事も予定されている2学期ですが、感染の状況を見ながら実施方法等について考えていかざるを得ない状況です。これまで以上に学校の教育活動を地域の皆様に公開していくのは難しい状況にありますが、ぜひご理解を頂ければと思います。子どもたちの学校生活のようすは、1学期同様、この学校だよりとホームページで行っていく予定です。



朝、登校してきた子どもは玄関で健康チェックカードを提出し、同時に非接触型の体温計で検温をします。熱がある子は再度、養護教諭が検温を行います。必要がある場合には家庭に連絡します。

始業式はパソコンのリモート機能を利用し、オンラインで行いました。子どもたちは教室で大型テレビやスクリーンに映った先生や児童会役員の映像を見ながら話を聞きました。今後、授業でも応用できそうです。



授業や給食、朝の会や帰りの会は、クラスを半分ずつのグループに分け、2つの教室を使って行います。（分割授業）1教室あたりの人数を減らすことで、十分なソーシャルディスタンスを確保することができます。



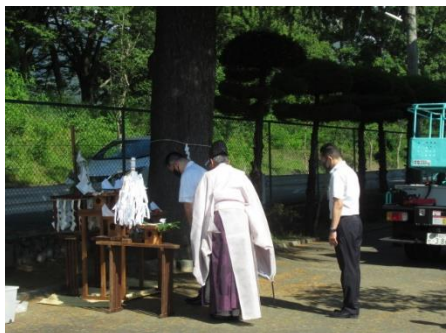
ヒマラヤスギを伐採しました

7月28日（水）、かねてから予定していた玄関西側のヒマラヤスギの伐採を行いました。

長い間、橿形北小学校の子どもたちを見守ってきてくれた木を切るということで、作業の前には桃園神社の神主様に学校に来ていただき、お祓いをしていただきました。

作業はクレーン車や高所作業車、ダンプカーなど、何台もの車を使って行われました。チェーンソーを持った作業員の方が、木の下側の枝を切ると同時に、クレーンで吊った幹を上の方から切り、切った木をクレーンで下におろし、ダンプカーで運べる大きさに解体する…その作業の繰り返しです。途中、昼休みを挟んでの作業は夕方4時近くまでかかり、本当にまる一日がかりの作業となりました。

作業を行っていた28日は、大きな車の出入りも多く、近隣の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。皆様のご理解とご協力のおかげで、無事に作業を終えることができました。ありがとうございました。



今年も運動会は規模を縮小しての実施になります

昨年度は「北小スポーツフェスティバル」という名称で、平日の3日間を使って分散開催をした運動会ですが、本年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響で、規模を縮小しての実施となります。本来ならば、地域の皆様にも学校に足を運んでいただき、本校の教育活動の一端をご覧いただきたいところですが、今年度も地域の皆様への公開は行わず、保護者の観覧も人数制限をする中での半日開催となります。

運動会のように、この学校だより等を利用して地域の皆様にも発信していこうと考えております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和3年度 橿形北小学校運動会

日時	令和3年9月25日（土） 9:00～12:00（半日開催）
内容	各学年のリレー・競争競技 2学年合同の表現運動
参観	1家庭当たり2名までに限定 （地域の皆様への公開は行いません）
その他	宝拾いは実施しません。（宝袋はお渡しします）



昨年の子どものたちのようす